

女性医師支援プロジェクト Gender Equality

令和2年12月31日時点で、全国の届出医師数は約34万人、そのうち女性が22.8%で、2年前に比べ8.1%増加しています。また、女性医師は出産時期に一時的に医療現場を離れることは避けることができず、出産を契機とした離職もみられます。現在、医療現場における過重労働が常態化している中、医師の地域偏在の是正、医療提供体制の充実を図るために、多様な働き方に配慮した就労継続・復職支援の確立により、多くの女性医師の活躍が期待されます。

女性医師のサポート体制を構築し、整備された女性医師が働きやすい環境は、男性医師を含む全ての医師にも同様であるとの意識改革をするとともに、医療機関や社会全体での柔軟な対応に繋げることが重要です。

大阪府医師会では、女性医師を取巻く現状を踏まえ、平成22(2010)年から「大阪府医師会女性医師支援プロジェクト - Gender Equality - 基本スキーム」により、平成22年から28年に「院内保育所・託児施設の現況等に関する調査」を4回実施しました。